

普

御書

[illegible]

一 左藏より其の臣等を命じて古  
 一 國并良民門中徳有る民を以て内  
 一 府より其の臣等を命じて古  
 一 府より其の臣等を命じて古  
 一 國并良民門中徳有る民を以て内  
 一 府より其の臣等を命じて古  
 一 府より其の臣等を命じて古

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部  
丁未年夏  
川傷兵部

一 昭陽侯行古款佩印書畫內有漢書古印  
一 袁振郭房書畫印師 昭陽侯印  
一 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印

一 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印  
昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印  
昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印

一 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印  
昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印

前  
一 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印

昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印  
昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印  
昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印

昭陽侯印  
七月

修

昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印  
昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印 昭陽侯印

一 判官の御前より御前へ致す事  
一 首座の御前より御前へ致す事  
より御前より御前へ致す事  
一 御前より御前へ致す事

一 御前より御前へ致す事  
より御前より御前へ致す事

一 御前より御前へ致す事  
より御前より御前へ致す事

一 御前より御前へ致す事  
より御前より御前へ致す事

一 御前より御前へ致す事  
より御前より御前へ致す事

一 御前より御前へ致す事  
より御前より御前へ致す事

九

六三

依序平聲 終平上平 你君上平 製新

吐詞出於肺腑，為生平第一

将书与王侯  
 归去书与人  
 去人书与侯  
 利书与王侯  
 王侯书

川陽堂  
川陽堂  
川陽堂

日之遠矣  
中興王威之中建所  
古痛傷別在久未成  
財貨如動傳  
身如作水

一者賣人外に別無道義者人種乳ののみ  
此れ及び中出るす所を妻たる人  
情に多かる出る所なり

社団法人

家無孝子

魯心下者

一、市英侨为是公中友人大老多明个



幸助氏より書きたるに、但先般の御書に、

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん  
出来、心、成、方、格

公、段、列、成、し、は、  
公、段、列、成、し、は、

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

不、成、り

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

一 所聞を是に書きて、通り、市、中、陰、ん

中

米

一 以持世之三年為期  
此世之世也

一 此世之世也  
此世之世也

一 此世之世也  
此世之世也

一 此世之世也  
此世之世也





徐家

高橋忠臣之因信長 出陣之勇氣

以爲之序。而亦不意其間。今刻則  
已。而亦不意其間。今刻則

[illegible]



别号之畫人 在風中之角 別名 亦作

北乃

今

一、村部 为车道 个 老 老 老 老 老

[illegible]

月女郎も亦  
 中あふれ物に思ひて七科き人止る不れ  
 社に思ひてりりき人止る不れ  
 七科き人止る不れ  
 中あふれ物に思ひて七科き人止る不れ  
 中あふれ物に思ひて七科き人止る不れ

九

一 田功平の経済学

也 22 列 5 12 米 代

此亦乃...  
此亦乃...  
○字有  
在安之

劇場で新演劇を上演する

夢人書

明祖廟通和之經廣文海至龍靈  
 聖書如卷之今抄自之所如之學  
 之表古之左之海之教也中之自  
 之之之之之之之之之之之之之  
 之之之之之之之之之之之之之

此種劇本，初在天津，

米倉と端を在幕上の前朝の幕  
内府の幕を在幕上の前朝の幕

七

李自芳

但中名命之古所同之字書畫

石府病重書此告諸親友  
惜身痛毒之至

書畫通史

福子家より  
九月廿二日

一、藝文書中表之有明多部一、

海東書院藏

江蘇省立第一中學



● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧

軍をたふす  
上御国祚

● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧  
● 高き如く相和し御下より 山城に雲霧

室

13

8

料

上越教育大学附属図書館



F81192392